



7月24日

ピッカピカの小波津川



「道路、排水、河川愛護の心」を高めることを目的に、「第38回西原町道路・河川愛護デー」(西原町主催、西原町産業通商会、西原町シルバー人材センター共催)が実施されました。31度を超える猛暑の中282人が参加し、町道内間小那覇線と小波津川のごみ拾いや草刈りなど清掃活動を行いました。



みなさんのご協力により、清掃後はとてもきれいになりました!ありがとうございます♪



7月17日

未来を担う青少年 まっすぐ育て



第39回青少年健全育成町民一斉行動の総決起大会がさわふじ未来ホールで開催されました。小中高生・一般の意見発表が行われ、小中高生は家族との関わりから気付いたこと、SNSを通して言葉の重みに気付いたことなどを自身の言葉で堂々と発表し、来場者は熱心に耳を傾けていました。

高宮城修氏(ネットいじめ防止対策推進員)による講演会では、スマホによるネットいじめの現状と対策、スマホの長時間使用が身体に与える影響について、脳科学の知識も交えながら解説があり、子どもたち自身、また子を見守る親自身もどうスマホと付き合っていくべきかという気付きの場になりました。

6月24日

西原町商工会 地域振興研修会開催



西原町商工会による地域振興研修会が行われ、沖縄自動車道幸地IC予定地やモノレール駅周辺を視察しました。研修会には商工会役員が参加し、西原町役場職員より町の道路整備事業計画、土地利用計画、区画整理事業等について説明を受け、現地視察および意見交換を行いました。参加者からは「今後西原町がどのように変わっていくかがイメージできた」、「モノレールの工事現場をじっくり見る機会はないので勉強になった」との意見が聞かれました。

7月16日

便利なスマホを安全に使うために



インターネット・スマホの正しい使い方講座が西原町中央公民館で開催されました。琉球新報のりゅうPONでモバイルに関するコラムを連載しているモバイルプリンス島袋コウ氏を講師に、SNSと個人情報流出、スマホゲームの危険性、ネットに溢れるフェイクニュース(ウソの情報)について、実際に起きた出来事を交えて分かりやすく説明がありました。多くの老若男女が参加した中で、参加した高校生からは「毎日スマホを使っているけど、知らなかった危険性を分かりやすく学べた」との声がありました。

スマホタブレットサークル

毎週火曜日/14時~16時
中央公民館 第1研修室
スマホの具体的な操作も学べます!
見学自由ですのでお気軽にご参加ください。

6月21日

さわりんピック開催 ~令和だよ!全員集合~



町内5ヶ所の障がい福祉サービス(就労系)事業所のスポーツ交流大会が西原町民体育館で開催されました。100名を超える参加があり、事業所の利用者は玉入れ等の3種目で、職員は5色綱引きで共に汗を流し、交流を深めました。

障がい福祉サービス(就労系)事業所
活動状況等展示会

8月27日(火)~30日(金) 西原町中央公民館
展示期間最終日の30日(金)12時~14時にはEM洗剤やパン、手工芸品などの限定販売会も開催します。町民の皆様のご来場お待ちしております。

6月2日

我謝自治会 自分たちの地域は自分たちで守る



土砂災害警戒区域として指定されている区域がある我謝自治会は、このほど6月の土砂災害防止月間に当たり、我謝地区内の一部で土砂崩れの前兆が見られたという想定で土砂災害防災訓練を実施し、住民62名が参加しました。

公民館での災害講話では、「大雨による災害(土砂災害・洪水害)」と題して、沖縄気象台職員から過去の事例の紹介や本町防災マップを活用した危険箇所の説明があり、災害から身を守るためには「日頃の備え」について、家庭・地域で理解を深めることが大事だということ学びました。

また、東部消防職員によるAEDの使い方の指導を受け、「早く・強く・「たゆまなく」続けることを意識しながら心肺蘇生術訓練に取り組んでいました。昨年に続き2回目の訓練ということもあり、「共助」の意識がさらに高まりました。



内間御殿(字嘉手苅地内)は、平成二二年二月に国の史跡に指定され、平成二四年度から整備を進めています。

特に指定範囲の中でも、内間御殿の中心的な空間である東江御殿(東殿)については、石垣や石敷などの遺構が良好で、沖縄戦で焼失する前に撮影された建物等の写真が残されていることから、優先的に調査、整備を進めています。

今年度は、平成二五年度に策定した内間御殿整備基本計画の見直しや、東江御殿敷地内での発掘調査などを行う予定です。

なお、現段階では、東江御殿の整備完了は令和一四(二〇三二)年度を予定しています。

それ以外の場所については、前述のような整備を行うために必要な情報がまだ十分でないことから、具体的な計画を立てることが困難な状況です。

ところで、内間御殿の現況を見て、整備が進んでいないと感じられている方もいらっしゃるかと思います。

問い合わせ

教育部文化課文化財係



「内間御殿」の整備について

文化財コラム

また、原則として、現地に残されている(当時使用されていた)材料と同じものや、当時使用された工具類、工法を使って整備をするのが求められます。

そのため、文化財の整備には少し時間がかかることが想定されます。引き続き、整備を早く進められるよう取り組んでいきますので、どうぞ、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。